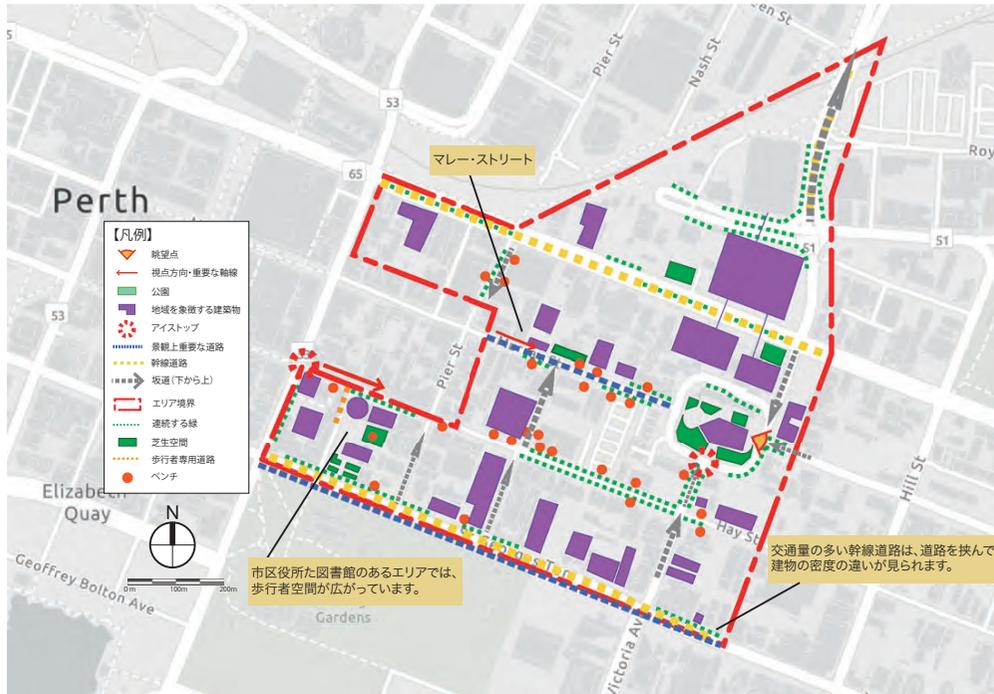


2-9 Perth駅南東公民エリア

エリアの北側は低層建築エリア、西側はモールエリアに接しています。エリア外の東側には住宅地が広がっています。このエリアは商業と住宅のエリアを繋ぐエリアで、市区役所や政府機関、教会、裁判所など市民の生活を支える公的要素が集結しています。高さのある近代的な建築物から、歴史的な外観の建築物まで多様な景観が混在しています。

景観特性



1.東西に延びる直線道路と街路樹



4つの東西に延びる直線道路には、交通量の多い南北の幹線道路と、歩行者と車が混在する2つの道路があります。直線道路には街路樹も並んでいますが、遠くまで見通しの良い景観が続くわけではなく、街路樹が建物を目隠しし、視界を遮るような景観も見られます。

2.点在する滞留空間



比較的歩行者の多い道路に接する歩道や、公民的な建築物には、人が滞留できる空間があります。滞留空間には、沿道に接しているものと建物に囲まれたものがあります。人が滞留できる空間には、ベンチや緑が設置しており歩行者が快適に、安全に滞留する事ができるようになっています。

3.景観の核となる大聖堂

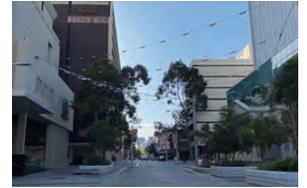


このエリアの核となるのがセント・メアリーズ大聖堂です。エリア最南の幹線道路から北に向かう坂道と、東から西へ延びる直線道路のふつかり合う場所に位置します。芝生に囲まれているこの大聖堂は、周りに高い建物も無く、この建物のみが孤立してエリアのランドマーク的な存在となっています。

景観形成の特徴

1.東西に延びる直線道路と街路樹

- 直線道路には街路樹が並び、緑豊かな景観を創出している。
- 多くの街路樹は高さが高過ぎないため、空も良く見える事からバランスの良い景観を保つ事ができている。
- 街路樹の高さや大きさが統一されていないため見通しが悪い場所や統一感の無い景観も見られる。



高さや大きさの異なる街路樹

具体的な保全策

- 街路樹の高さを統一する事で、直線で見たとときの景観を保全する。
- 道路によって街路樹の高さを変え、道路に合った見通しを確保する。



マレー・ストリート
街路樹によって見通しが悪くなっている景観

2.点在する滞留空間

- 点在する滞留空間には、沿道にある空間と建物に囲まれている空間の2つがある。
- 沿道にある空間は、歩道が広がり、人の流れを調整している。
- 建物に囲まれた空間は、イベントが出来る広さがあり、人の賑わいを創出するような効果がある。



ヘイ・ストリートの歩道にある空間

具体的な保全策

- 人が滞留する際にあふれる事が無いよう、多くの人が座れるベンチを設置していく。
- ベンチの空間を清潔に保全するためにゴミ箱の設置や市民とのゴミ拾い活動を行う。



ベンチやテーブルが囲まれた滞留空間

3.景観の核となる大聖堂

- 坂の上で開けた場所に位置する大聖堂は、このエリアの核となる建築物である。
- 建築物の付近には高い建物や植栽が無い事からこのような開放感ある景観が守られている。



大聖堂を真正面から見た様子

具体的な保全策

- 周りには高い建築物を設置しない。
- 大聖堂周りは芝生を維持し、背の高い植栽を設置しない事で開放的な景観を維持する。



芝生が広がる開放的な景観